



### 「乾坤一擲(けんこんいってき)」の大勝負

校長 尾崎 淳一

竜北生の皆さんが大好き&大得意な、「漢字の問題」を出します。6月に関係の深い、次の漢字を読んでみてください。

- ①「水無月」
- ②「梅雨」
- ③「五月雨」
- ④「雨蛙」
- ⑤「紫陽花」、
- ⑥「花菖蒲」
- ⑦「夏至」
- ⑧「半夏生」
- ⑨「枇杷」
- ⑩「早乙女」

1問1点の「小テスト」です。10点満点で何点を取る自信がありますか。少し考えれば読めそうなものからたぶん読めない難問まで、難易度は様々ですが、竜北生の皆さんなら「10点満点」に近い点数が取れるのではないのでしょうか。ただ、今回に限り、満点からマイナス10点までの誤差なら許すことにしましょう。

それでは、**解答編**です。

- ①「みなづき」
- ②「つゆ」
- ③「さみだれ」
- ④「あまがえる」
- ⑤「あじさい」
- ⑥「はなしょうぶ」
- ⑦「げし」
- ⑧「はんげしょう」
- ⑨「びわ」
- ⑩「さおとめ」

⑧の「はんげしょう」は難しいですね。元国語教師の私も読めません。意味は、「二十四節気の一つである夏至(げし)から数えて11日目にあたり、農作業の節目とされる重要な日」とのことです。名前の由来は、梅雨明け前、旧暦の初夏に当たる時期で、「半夏」という植物が生える時期だからとも、「半化粧」という花が咲く時期だからとも言われています。また、蛸(たこ)の足のように稲が大地に根を張り、豊かに成長することを願って、**半夏生の日には蛸を食べる**風習が残る地方もあるそうです。中間テストに出題される可能性は**低い**でしょうが、覚えておくといつか役立つ日が来ると思いますよ。

話は変わりますが、各顧問から案内をいただき、6日の土曜日には**サッカー一部と陸上競技部の大会**に駆け付けました。私の応援スタイルは、「決して目立たぬように、選手や監督の邪魔にならぬように、物陰からひっそりと見守ること」です。そのため、竜北生の皆さんは、私の姿を見ることはできません。試合後も大切な時間なので、声は掛けません。

実は、土曜日の午前は用事があったので、観戦は諦めていたのです。ところがその朝、知立駅で猿投行き電車を待っていた私は、**幻聴**に襲われました。「**尾崎先生♡**」という声が背後から聞こえてくるのです。心当たりはありません。恐る恐る振り返ってみたところ、10mほど先の別のホームで碧南行きの電車を待つ、**5、6人の竜北サッカー部員とコーチの姿**が目に入りました。彼らはちょうど碧南市の試合会場に向かうところでした。そう言えば、修学旅行の途中、私が山下公園で海を見つめていたとき、「**頑張るから試合を観に来てください**」と、3年サッカー部員が笑顔で声を掛けてくれたことを思い出しました。「よし、行こう」と決心した私は、車を制限速度内で飛ばし、僅か5分間でしたが応援に間に合いました。



また、その後に直行した岡崎市の**龍北スタジアム**では、**竜北陸上競技部員**が活躍しており、**200m**に出場した**竜北3年生**が、秒単位で持ちタイムを縮めて決勝へ進出するという、衝撃の瞬間に立ち会うことができました。空気を切り裂く素晴らしい走りでした。

知立・刈谷地区大会まで、残り1か月です。ベストコンディションで「**乾坤一擲**」の大勝負を仕掛けてください。「**竜北生、Go!!**」

全校集会で、「**乾坤一擲**」という言葉を紹介しました。その意味は、「運命を賭けた大勝負」です。中間テストにも知立・刈谷地区大会にも、全力で挑む竜北生に期待しています。

(令和8年6月9日)